

## 第2学年〇組 国語科学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

- 1 単元 「資料や機器を効果的に活用する」(プレゼンテーション)
- 2 本単元の指導にあたって

### ○生徒観

本学級の生徒は、第1学年の「聞き上手、話し上手になるために(スピーチ)」の学習(話す・聞く)において、スピーチメモを作成し、話す速度や音量、ことばの調子や間の取り方、身振りや手振りなどの効果を意識しながら、相手意識、目的意識を持って自分の考えを伝える学習を行っている。また、説明文の学習においては、資料や例示の順序を入れ替える活動を通して筆者の述べ方の工夫について考える学習を行ってきた。そこで、本単元においては、既習の学習内容や経験を生かして、よりよいプレゼンについての知識を深め、自分のプレゼンをよりよいものへと練り上げていく。そして、相手を引き付けたり納得させたりしながら、伝えたいことを伝えることができるようにする。このことは、自分の考えや意見などを順序立てて、適切に、かつ効果的に伝えるプレゼン力は、自己実現のためにも、また、他者と協働して課題を解決していくためにも必要であり、これからの社会を主体的に生きていくことができる生徒を育てるうえでも意義深い。

### ○教材観

本教材は、相手の理解や同意を得るために、身の回りの出来事や社会生活の中から設定したテーマについて調べたり考えたりしたことをもとに資料を作成し、作成した資料や機器などを効果的に活用して説明・報告することができるようにする教材である。伝えたいことが相手に伝わる説明・報告にするために、テーマについて多角的な視点で提案内容を考え、提案を支える情報を収集し、効果的な伝え方を考えてプレゼンを行うという構成になっている。「わかりやすく」「説得力があり」「印象に残る」プレゼンの仕方を学ぶ過程で、相手意識や目的意識をもって伝える力や、情報収集の方法や目的に応じて情報を整理する力を育むことができるという価値がある。

また、本単元では、これまでの話したり聞いたりする活動において学習した目的意識、相手意識を持って伝えることを大切にして、「日本のよさ」をAPUの留学生にプレゼンするという場を想定して、構成や資料、表現を工夫しながらプレゼンを行う。このことは、本単元以降に取り扱う、異なる立場や考えを尊重して討論する学習や、第3学年における、状況に応じて話す力を養う学習といった「話すこと・聞くこと」の学習のみならず、評論文を読み取ったり、主張文を書いたりする学習へと発展させていくうえでも有意義である。

### ○指導観

本単元の指導においては、伝える情報を整理し、印象に残る工夫や論理的でわかりやすい構成を考え、写真や図表を効果的に組み合わせた説明の仕方を工夫し、プレゼンすることができるようにしたい。そのために、モデルとの比較や他者との交流活動を通して、良い点や改善点などを明確にし、自分の班のプレゼンを見直す活動を構成する。

特に本時では、相手によりわかりやすいプレゼンにするための効果的な伝え方を考えることができるようにしたい。そのために、まず、「三輪スタンダードであう段階」のパターン③「不十分さに気付く」を活用し、前時までに作成したプレゼンで本当に相手を引き付けたり納得させたりしながら伝えたいことを伝えられるのかを問い、プレゼンを成功させるためにはどうすればよいのか見通しが持てるようにする。次に、「三輪スタンダードつくる段階」では、録画した自分の班のプレゼンとモデル動画を視聴し、比較する活動を仕組むことによって、自分たちが作成したプレゼンに足りないものに気付くことができるようにする。そして、「三輪スタンダードふかめる段階」において、全体での交流を通して自分の班の考えと比較し、再構築することで、よりよいプレゼンができるようにする。最後に、「三輪スタンダードふりかえる段階」において、生徒自身で学習をふりかえる活動を位置づけ、自分の成長を言語化して交流することで、学びの自覚をすることができるようにするとともに、学習における自己の成長を感じることができるようにする。

### 3 目標

- (1) 相手に分かりやすいプレゼンにするために、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成について理解を深めることができる。 (知識及び技能)
- (2) 資料や機器を用いて、日本のよさを伝えるプレゼンが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) APUの留学生に対し、日本のよさについて効果的に伝えようとする。 (学びに向かう力、人間性等)

### 4 指導計画 (総時数 6時間) 本時⇒●

| 次      | 学習活動・内容   | 主 眼   | 三輪スタの活用方法   |
|--------|---|---|---|
| 一<br>① | ①プレゼンの動画を視聴したり活用問題に取り組んだりすることを通して、単元の学習課題を把握し、見通しを持つ。 | ○ プレゼン学習について知り、より良いプレゼンについて考えることができる。                               | <b>三輪スタ (であう④)</b><br>・モデルを提示することによって、より良いプレゼンの条件について考えることができるようにする。  |
| 二<br>④ | ②ブレーンストーミングを通して、多角的な視点からプレゼン内容を考える。                   | ○ 相手と目的を意識したプレゼン内容を考えることができる。                                       | <b>三輪スタ (つくる)</b><br>・どのような目的で、どのような内容を紹介するかを分けて考えるよう指示することによって、相手と目的を意識したプレゼン内容を考えることができるようにする。                    |
|        | ③本やインターネットを活用した調べ学習を通して、プレゼンを支えるための適切な情報を収集、整理する。     | ○ プレゼンの具体的な事例となる情報を収集し、発表の流れをプレゼンシートに整理することができる。                    | <b>三輪スタ (つくる)</b><br>・目的や意図に応じた情報に着目させることによって、適切な情報を収集、整理することができるようにする。   |
|        | ④発表の流れと情報を対比することを通して、資料を作成し、試しのプレゼンを行う。               | ○ プレゼンシートに従って資料を作成、整理し、試しのプレゼンを行うことができる。                            | <b>三輪スタ (つくる)</b><br>・発表の流れと情報を照らし合わせるよう指示することによって、資料を作成、整理することができるようにする。   |
|        | ⑤自分のプレゼンとモデルを比較することを通して、効果的な伝え方について考える。               | ● 自分のプレゼンとモデルを比較することによって、相手により分かりやすいプレゼンにするための効果的な伝え方について考えることができる。 | <b>三輪スタ (ふかめる)</b><br>・相手により分かりやすくするための効果的な伝え方について交流させることによって、違う視点からの考え方があることに気付いたり、自分たちの班の考えに自信を持ったりすることができるようにする。 |
| 三<br>① | ⑥プレゼンテーション行い、評価し合う。                                   | ○ 他者の発表を評価したり、自己評価をしたりして、学習内容を振り返ることができる。                           | <b>三輪スタ (ふりかえる)</b><br>・自己評価と他者からの評価を比較しながら単元を振り返ることによって、①分かったこと②どのように考えたか③学んだことをどう生かすかの3点を記述することができるようにする。         |

5 本時の授業評価指標（ルーブリック）

| 三輪スタンダードで重視する段階（ふかめる）   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 自分のプレゼンとモデルを比較することによって、相手により分かりやすいプレゼンにするための効果的な伝え方について考えることができる。 |  |  |  |
| 評価項目  | C  | B  | A  |
| ねらいの達成状況  | 効果的な伝え方に気付くことができる。                               | 効果的な伝え方に気付き、自分の班のプレゼンをよりよいものにしようと思えることができる。                                  | 効果的な伝え方に気付き、自分の班のプレゼンに生かしてリハーサルをすることができる。  |
| 目指す子ども姿（発言・行動など）  | 資料を提示するタイミングを工夫すると、相手により分かりやすいプレゼンにできると分かった。（記述） | 資料を提示するタイミングを工夫すると、相手により分かりやすいプレゼンにできると分かった。自分の班のプレゼンの写真を提示するタイミングを変更した。（記述） | 資料を提示するタイミングに着目し、自分の班のプレゼンの写真を提示するタイミングを変更し、リハーサルをしてみると、相手の興味を引き付けられることが実感できた。（記述） |

| 評定 | 評定の根拠 | 代案 |
|----|-------|----|
|    |       |    |

6 本時案

(1) 主眼

○ 自分のプレゼンとモデルを比較することによって、相手により分かりやすいプレゼンにするための効果的な伝え方について考えることができる。

(2) 日時 令和2年10月30日(金) 第5校時 於：第2学年〇組教室

(3) 学習の展開 (50分)

|       | 主な学習活動と内容   | 三輪スタの工夫  | 分 |
|-------|---|--|---|
| であう   | <p>1. 学習課題を把握し、本時のめあてを確認する。</p> <p>(1) 前時を振り返り、本時の学習を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題<br/>前時のプレゼンで、本当に、相手を引き付けたり納得させたりしながら伝えたいことを伝えられるのだろうか。</p> </div> <p>(2) 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>相手により分かりやすいプレゼンにするための効果的な伝え方を考えよう。</p> </div>   | <p>○プレゼンを成功させるためにはどうすればよいのか見通しを持たせる。</p>   | ⑤ |
| つくる   | <p>2. 効果的な伝え方について考える。</p> <p>(1) プレゼンのモデルを視聴し、気付いたことを挙げ、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成・・・導入・展開・まとめ、根拠と理由、つかみ</li> <li>・資料・・・内容(図、写真、グラフ、データ)、キーワード、提示するタイミング</li> </ul> <p>(2) 録画した自分のたちのプレゼンを視聴し、モデルと比較して、足りないものについて個人で思考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の部分で、興味を引き付けられていないな。</li> <li>・1枚の資料に情報が多すぎて、分かりにくいな。</li> <li>・写真からイメージがしづらいな。</li> </ul> <p>(3) 班で交流し、改善策を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入と展開を入れ替えてみよう。</li> <li>・グラフだけに絞って、数字の部分を強調させよう。</li> <li>・写真を提示するタイミングを変えてみよう。</li> </ul> | <p>○スピーチの学習や説明文、創作文の学習を想起させることで、既習内容を生かして課題を解決できることに気付かせる。</p> <p>○プレゼンのモデルと比較させることで、自分たちが作成したプレゼンに足りないものに気付かせる。</p> | ⑦ |
| ふかめる  | <p>3. 全体で交流し、考えの再構築を図る。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">考えを再構築する活動</span></p> <p>(1) 他の班の改善策について交流する。</p> <p>(2) 班で交流し、改善策を再検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○班の考えは取り入れられそうだな。</li> <li>・やっぱり自分たちの班の考えはよかったな。</li> <li>・さらに良いものにしよう。</li> </ul>   | <p>◎他の班との交流を行うことで、違う視点からの考え方があることに気付かせたり自分たちの考えに自信を持たせたりする。</p>  | ⑮ |
| ふりかえる | <p>4. 学びを振り返る活動を行う。</p> <p>(1) 本時の学習を振り返り、自分の言葉で記述する。</p> <p>(2) 振り返りを交流し、本時のまとめを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(㊟写真を提示するタイミングを具体例の説明の前にし、イメージしやすくすると、相手により分かりやすいプレゼンにすることができる。</p> </div>   | <p>○3つの振り返りの観点を基に自分の言葉で振り返りをさせる。</p>   | ⑧ |